

福祉だより (令和6年度下半期)

田麦野地域社会協議会

※この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

ご挨拶

会長 東海林千八子

常日頃、田麦野地域社会福祉協議会の諸行事につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
下半期の活動を「福祉だより」に取りまとめましたのでご一読いただければ幸いです。
今後とも福祉事業に対し、ご意見 ご相談をお寄せいただきながら、より良い福祉協議会にまいります。

活 動 状 況

1 いきいきサロン(かさまつ大学)

65歳以上の高齢者を対象に、毎年かさまつ大学を開講(年6回の講座)

下半期は3回の講座を実施しました。

(1) 日帰り温泉の旅:11月15日(金)

会員の希望が多い事業として、「温泉の旅」今回は河北町にあります「べにばな温泉ひなの湯」に場所を移し、日頃の疲れを温泉で身体を癒しました。入浴・おしゃべり・買い物・横になったりと各自思い思い楽しいひとときを過ごしました。



(2) ふれあい講座(チェロ演奏):12月17日(火)

普段チェロとはどんな楽器なのか聞きなれないなか、演奏者加藤雄一さんをお迎えしチェロの音色に耳を傾けた。プログラムの中には懐かしの映画音楽や皆さんが知っている曲目もあり、皆で歌ったりアンコール曲をお願いし楽しいひとときを過ごしました。



(3) ふれあい講座(みとちゃんのマジックショー):2月18日(火)

マジシャン水戸一美さんをお迎えし本年度最後のふれあい講座を実施しました。軽快なトークと鮮やかな手さばきでマジックが成功するたびに大きな拍手、歓声がかれました。



2 地域カフェ(スリッパ卓球すみれ会)

交流施設「さとやま」にて毎週水曜日実施しているスリッパ卓球、冬場の寒い中でも会場に足を運び、会員同士コミュニケーションを取りながら楽しく和気あいあいと実施しておりました。特に休憩時間を利用しての談義、美味しい物を持ち寄り楽しいひとときを過ごしております。会員のレベルもあがりレクレーション大会にて成果を試すのも一つの楽しみでもあるようです。



3 琥珀3B(3B 体操)

3B 体操の講師でもある菅原氏は、これまでの3B 体操会員のほかに新たに高齢者を対象とした「スマイル3B 体操」「親子3B 体操」を立ち上げ、活動中です。健康の一環として身体を動かし会員同士のコミュニケーションを取りながら楽しんでは如何でしょうか？



4 一人暮らしの高齢者及び要支援世帯宅訪問

冬場でこもりがちな高齢者の一部対象者を、民生員及び推進員による高齢者訪問を12月に実施しました。一人ひとりに向き合って、困りごと・相談したいこと等現状把握につとめました。個人情報的な問題は関連する行政等との調整を図るなど地域全体で出来る事項は皆で話し合い住みよい地域にしていかなければと確信したところでした。

5 料理教室

3月2日(日)福祉協議会主催で役員が3グループに分かれ講師となり、餃子、ポテトサラダ、胡桃和えづくりに挑戦、大半が主婦とあって包丁さばきはお手の物 短時間で完成することが出来ました。量も多くおなか一杯美味しくいただきました。



6 一人暮らし世帯の除雪支援

例年とおり、自治会の役員による一人暮らし世帯の除雪支援を実施して頂きました。昨年と違い本年度は積雪の量が多くまた重く、朝早くからの除雪作業大変ご苦労様でした。

世帯数：7件 除雪日数：132日 除雪時間：134時間

7 除雪ボランティア活動

天童市社会福祉協議会の協力で、1月11日(土)及び25日(土)の両日一人暮らし世帯(各4世帯)の除雪ボランティア活動として、創学館高等学校の野球部の生徒さん及びモンテディオ山形ジュニアユースそして一般の方々の協力による除雪作業、短時間で綺麗にさせていただき、高齢者からは若い力はすごいと「ありがとう」の感謝の言葉を伝えておられました。大変ご苦労様でした！

